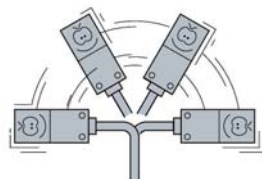


【耐屈曲ケーブル】

■ 耐屈曲ケーブルとは？

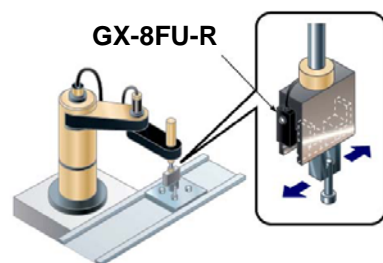
ケーブルタイプのセンサは、一般的なキャブタイヤケーブルを使用しています。これを繰り返して曲げると、ケーブル内部で断線するおそれがあります。この一般的なキャブタイヤケーブルに対し、繰り返し曲げ（曲げ耐久性）に優れているケーブルを、“耐屈曲ケーブル”と呼んでいます。



耐屈曲ケーブルタイプのセンサ

■ 耐屈曲ケーブルタイプの用途

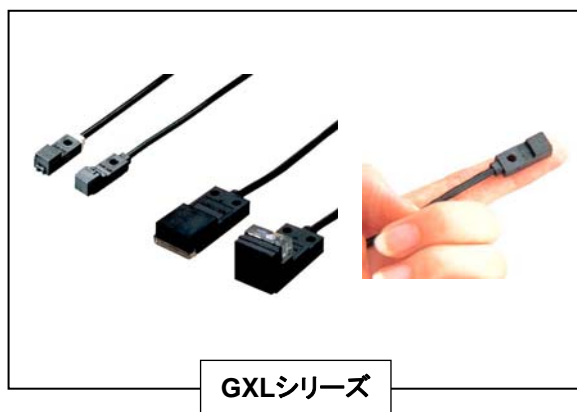
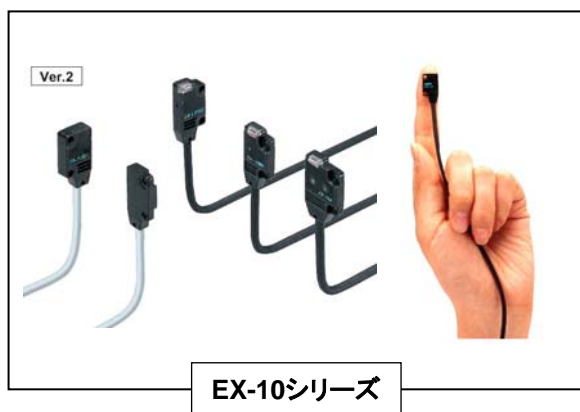
曲げ耐久性に優れているので、例えば、ロボットアームの先端にセンサを取り付け、ケーブルをアームに沿って這（は）わせるといった使い方の場合に有効です。



■ 耐屈曲ケーブルタイプのラインアップ

耐屈曲ケーブルタイプのラインアップの一例として、下記のシリーズがあります。（2013年7月現在）

- ・光電センサ : 超薄型光電センサ EX-1□-R
- ・高周波発振型近接センサ : 直流2線式・マイクロ近接センサ GXL-□U-R



当社のセンサの場合、耐屈曲ケーブルタイプの型式名は、型式の末尾に“-R”を付けています。これは、耐屈曲ケーブルが一般的に“ロボットケーブル”と呼ばれているため、当社ではROBOTの頭文字のRを取って型式名に付けています。

（例）超薄型光電センサEX-11Aの耐屈曲ケーブルタイプの型式名は、EX-11A-Rとなります。

■ 耐屈曲ファイバ(関連商品)のご案内

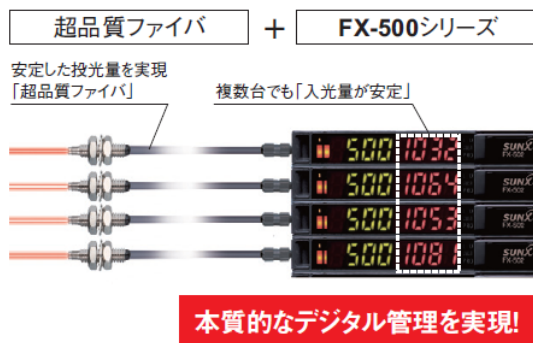
耐屈曲ケーブルタイプの光電センサや高周波発振型近接センサの他に、ファイバセンサで耐屈曲性能を持たせたタイプを用意しています。

耐屈曲ケーブルタイプの光電センサや高周波発振型近接センサを使用した際、検出距離が足りない場合にご検討願います。

超品質ファイバ

FT-40、FT-30、FT-S30、FT-S20、FD-60、FD-40、FD-30、FD-S30

自社工場における新工法と「ものづくり」にこだわった品質管理システムそして新素材により、標準ファイバの常識を超えた品質に。投光量の安定性に優れ、動きや曲げに強く、使用できる温度レンジも拡大しています。特にアンプFX-500シリーズとの組み合わせで従来比最大4倍の入光量の安定性を実現しました。



新標準ファイバ

FT-42、FT-31、FT-S21、FT-E13、FT-E23、FD-61、FD-41、FD-31、FD-S31

超品質ファイバの性能を継承したフリーカットファイバ。低価格のまま動きや曲げに強くなり、従来使用用途により3シリーズ取りそろえる必要がありましたが不要となります。そのため登録品番の削減やファイバ選定の手間を軽減します。

従来の3シリーズを1つに!!
新標準ファイバ



(注1): 屈曲条件 曲げ半径R10mm、往復曲げ180°、引張荷重25g/35g

従来の3シリーズでは

- ・選定時間の無駄。
- ・用途別で使い分け。
- ・登録品番と保守在庫がかさむ。

①耐屈曲ファイバ

100万回
(4,500円から)

②こまわりファイバ

R1~2mm
(6,000円から)

③汎用ファイバ

R25mm
(3,000円から)

ファイバ先端部の金具を全機種SUS化

- RoHS対応が明確に
- 2次電池への使用が可能に
- 取付強度アップ

